



自ら開発したきりたんぼのアレンジ商品を手渡す生徒（右）

プレゼンや選考経て商品化

能代松陽高生「たんぼ」販売

三種町 アランマール試合会場で

バスケットボール女子Wリーグのアランマール秋田を運営するプレスティー・インタナショナルと能代松陽高校情報ビジネス科3年の生徒らが7日、チームが三菱電機と対戦した試合会場の三種町琴丘総合体育館で、自ら開発した「みそたんぼ」と「肉巻きたんぼ」を販売し、好評を博した。■アランマール関連記事8面

生徒は業務体験を積み、アランマール側は観客増につなげる狙い。同科3年の約60人が4チームに分かれて集客イベントを考案し、10月にアラン大会を実施。プレスティーと話した。（羽生田一海）

この日は考案したチームの生徒8人が店頭に立ち、みそたんぼは250円、肉巻きたんぼは500円で販売。販売開始から約2時間半で計160本が完売した。

チームのリーダー石川伶さん（18）は「2品とも食べやすく、みそは定番の味で肉巻きはポピュラーに仕上げた。よく売れて達成感があった」